

8B92 クイックマニュアル

はじめにお読みください

この時計はワールドタイム機能とストップウォッチ機能を搭載したソーラー駆動の電波修正ウォッチです。
 ・光を「電気エネルギー」に換え、時計を動かしています。
 ・時刻情報をのせた電波を受信することにより、正しい時刻を表示します。
 (日本、中国、アメリカ、ドイツの電波を受信することができます。)
 ・タイムゾーンを選択することで、世界各地域の時刻を表示できます。
 ・センター針で1/5秒単位を測定する本格ストップウォッチ機能を搭載しています。

全国共通フリーダイヤル **0120-612-911**

お客様相談室

〒100-0005

東京都千代田区丸の内3-1-1 国際ビル

〒550-0013

大阪府大阪市西区新町 1-4-24

大阪四ツ橋新町ビルディング

セイコーウォッチ株式会社

<http://www.seiko-watch.co.jp>

1 ご使用にあたって

■ 充電を心がけましょう

【光のあたるところに置く・保管する】 など
 日常的に十分な充電を心がけましょう。

■ 電波を受信しやすくするために

受信のときは、窓際などの電波を受信しやすい場所に置いてください。

安定した状態で電波を受信するために、**受信中は時計の向きを変えたり、傾けたりなどせずに、静止した状態にしてください。**

※ 電波の状況により最長 12 分かかります。



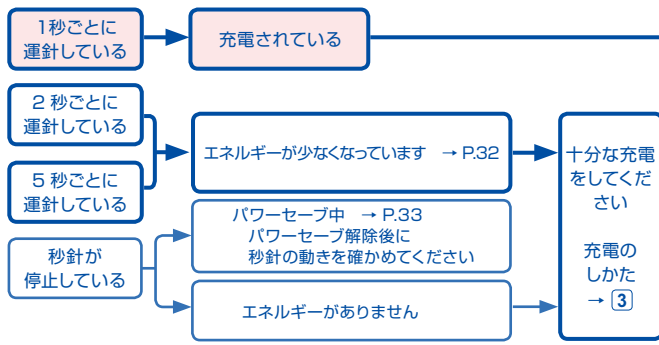
■ 電波受信 (自動受信、強制受信) をするときは

ストップウォッチをリセットしてください。ストップウォッチがリセットされていないと、電波受信ができません。

2 ご使用の前に 取扱説明書 P.16

① エネルギー残量を確認する

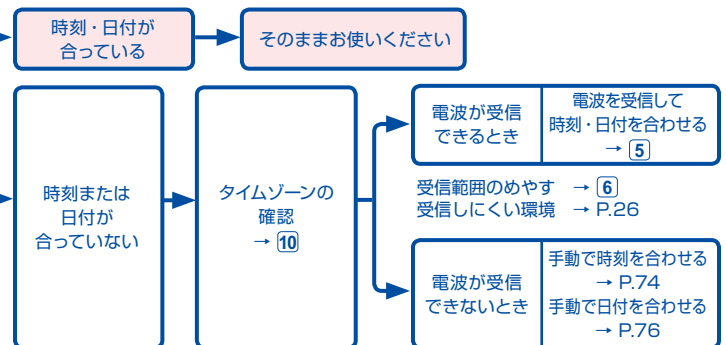
秒針の動きを確認して、エネルギーが不足しているときは充電をしてください。



※ 充電をしても1秒運針にならないとき → こんなときは：充電 P.90

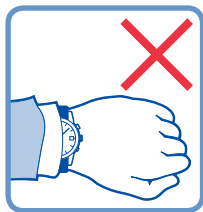
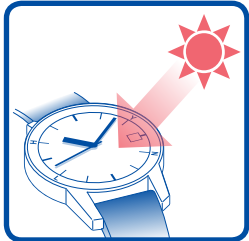
② 時刻・日付を確認する

※ この時計は、りゅうずを回しても針が動きません。
 時刻または日付を修正するときは、下記のページを参照してください。



3 充電のしかた 取扱説明書 P.30

文字板に光をあてて充電してください。



快適にご使用いただくために、十分な充電をすることを心がけましょう。

以下の状況では充電不足によりエネルギーが切れ、時計が止まる可能性が高くなります。

- ・時計が衣類のそでの中に隠れている
- ・光のあたりにくい環境での使用や保管が続く

※ 充電の際は、時計が高温にならないようご注意ください。(作動温度範囲は -10℃~+60℃です。)
 ※ 使いはじめ、または充電不足で停止していた時計を駆動させるときは、右ページの表をめやすに十分な充電をしてください。

4 充電にかかる時間のめやす 取扱説明書 P.31

以下の時間をめやすに、充電を行ってください。

照度 lx (ルクス)	光源	環境 (めやす)	フル充電まで	確実に 1 秒運針になるまで★	1 日ぶん動かすには
500	白熱球	60W 60cm	-	-	6 時間
700	蛍光灯	一般オフィス内	-	-	4 時間
1000	蛍光灯	30W 70cm	-	40 時間	3 時間
3000	蛍光灯	30W 20cm	230 時間	6 時間	1 時間
5000	蛍光灯	30W 12cm	150 時間	4 時間	35 分
1 万	蛍光灯	30W 5cm	60 時間	1.5 時間	15 分
	太陽光	くもり			
10 万	太陽光	快晴(夏の直射日光下)	30 時間	30 分	3 分

★この数値は、止まっていた時計に光をあてて、「確実に 1 秒運針になるまで」に必要な充電時間のめやすです。
 この時間まで充電しなくても 1 秒運針になりますが、その状態ですぐに 2 秒運針になることがあります。
 この時間をめやすに充電してください。

※ 充電に必要な時間は、モデルによって若干異なります。

※ 運針については、エネルギー残量を確認してください。 → エネルギーを確認する ②

5 電波を受信して時刻・日付を合わせる 取扱説明書 P.19

■ 自動受信

この時計は、決まった時間に自動的に電波を受信して、時刻・日付を合わせます。

自動受信は、午前2時前、午前3時前と午前4時前に行われます。

- ※ 受信に成功した時点で、自動受信を終了します。
- ※ 電波の状況により、最長 12 分かかります。
- ※ ストップウォッチ針がリセットされていないと、電波受信・時差修正の機能は、はたらきません。ストップウォッチ針を確認してください。 → ストップウォッチのリセットのしかた P.48

受信のときは、時計を電波を受信しやすい場所に置き、動かさないようにします。 → 受信しやすくするために P.25

■ 強制受信

自動受信以外に、いつでも任意に電波を受信させることができます。

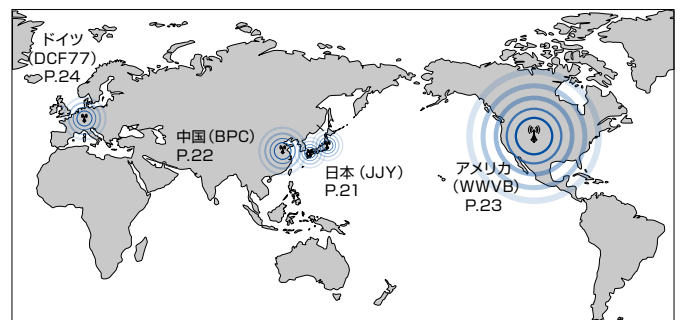
→ 強制受信のしかた P.70

- ※ 受信の成否は受信環境によって左右されます。 → 受信しにくい環境 P.26
- ※ 受信範囲の外では電波の受信はできません。 → 受信範囲のめやす ⑥
- ※ 受信に成功しても時刻・日付が合わないとき → こんなときは：時刻、針のずれ P.92、日付のずれ P.94
- ※ 日本、中国、アメリカ、ドイツ以外のタイムゾーンを選択していると、電波の受信はできません。 → タイムゾーン表示と時差一覧 ⑪

6 受信範囲のめやす 取扱説明書 P.20

この時計は、日本 (2 局) と中国、アメリカ、ドイツの標準電波を受信します。ワールドタイム機能で受信局を選択することができます。

→ タイムゾーンを選択する (世界各地域の時刻を表示する) ⑩

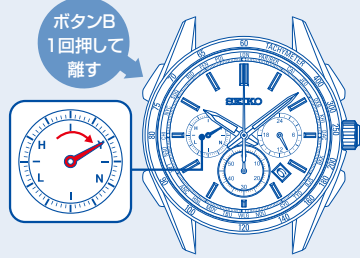


7 受信ができていないか確認する 取扱説明書 P.28

受信結果表示について

最後に受信した結果（成否）を小秒針が5秒間表示します。

① ボタンBを1回押し、離す



※ボタンBを押し続けると、強制受信の動作に入ります。

② 秒針が受信結果を示す



受信できている：Y
10秒位置



受信できていない：N
20秒位置

※5秒経過、または途中でボタンBを押すと時刻表示に戻ります。

受信結果がYになったときは

- ・受信ができています。そのままお使いください。
※受信に成功しても時刻・日付が合わないとき → こんなときは:時刻、針のずれ P.92、日付のずれ P.94

受信結果がNになったときは

- ・時計を置く場所や向きを変えてから、受信させてください。
受信範囲のめやす内でも、条件（天候・地形・建造物・方角などの影響）により、受信できない場合があります。→ 受信しにくい環境 P.26
また、受信範囲の外では電波の受信はできません。→ 受信範囲のめやす ⑥
- ・タイムゾーンを確認して、受信させてください。
日本、中国、アメリカ、ドイツ以外のタイムゾーンを選択すると、電波を受信できません。タイムゾーンを確認してください。→ タイムゾーンを選択する（世界各地域の時刻を表示する）⑩
- ・違う時間帯に受信させてください。（強制受信の場合）
同じ場所でも時間帯によって受信環境は異なります。電波の特性により、夜間のほうがより受信しやすくなります。
電波を受信できない地域・場所でお使いのとき、またはどうしても受信がうまくいかないときは、手動で時刻・日付を合わせてください。→ 手動時刻合わせのしかた P.74
→ 手動日付合わせのしかた P.76

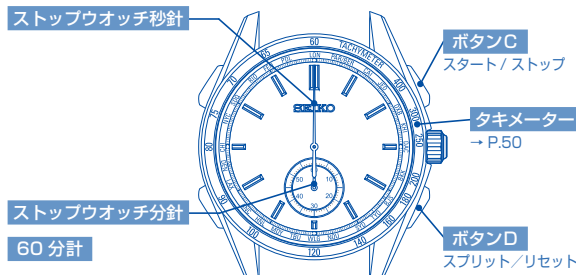
8 ストップウォッチ機能について 取扱説明書 P.42

1 / 5秒単位で計測できます。

計測時間は、60分です。

6時間計測後、自動的にリセットされ、0位置に停止します。

※ストップウォッチ秒針は、60分経過後に自動的に0秒位置で停止します。
再度、計測中にストップまたはスプリット操作があった場合、その時の計測時間を表示します。
再スタート後、またはスプリット解除後も最大60分間は運針します。



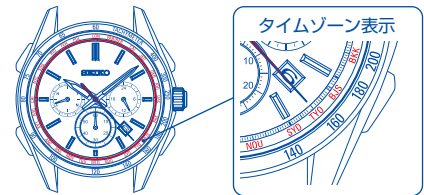
※タキメーターの表示位置は、モデル（デザイン）によって異なる場合があります。
※タキメーターのないモデルもあります。

9 ワールドタイム機能の使いかた 取扱説明書 P.34

ワールドタイム機能の特長

- ・タイムゾーン（世界の25の地域）を選択することで世界各地域の時刻を表示できます。

タイムゾーン選択モードでは、選択されているタイムゾーンをストップウォッチ秒針で示します。



- ・日本（2局）または中国・アメリカ・ドイツのタイムゾーンを選択すると、電波の受信範囲内では、自動受信時、また強制受信時に、電波を受信して正確な時刻・日付を表示します。

※受信範囲の外では電波の受信はできません。→ 受信範囲のめやす ⑥

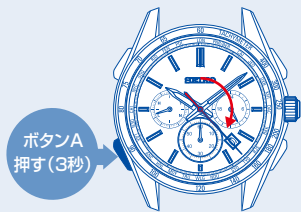
→ タイムゾーンを選択する（世界各地域の時刻を表示する）⑩

→ タイムゾーン表示と時差一覧 → ⑪

10 タイムゾーンを選択する（世界各地域の時刻を表示する） 取扱説明書 P.36

① ボタンAを押し続けて（3秒）ストップウォッチ秒針が動いたら離す

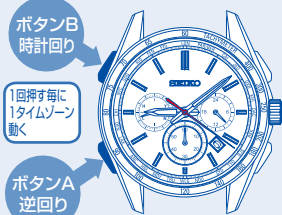
▶ タイムゾーン選択モードに入り、ストップウォッチ秒針が現在設定されているタイムゾーンを示します。



※ボタン操作をしない状態が10秒以上続くときストップウォッチ秒針が自動的に0秒位置に戻ります。操作途中のときは、①から操作をやりなおしてください。
※ストップウォッチがリセットされていないときはタイムゾーン選択モードに入りません。（ストップウォッチ秒針がタイムゾーンを示しません。）ストップウォッチをリセットしてから操作をしてください。→ P.48

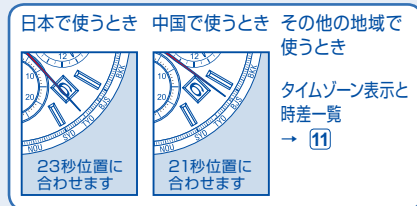
② ボタンAまたはボタンBを押して、ストップウォッチ秒針を目的地のタイムゾーンに合わせる

▶ ボタンAまたはボタンBを押すとストップウォッチ秒針が移動し、タイムゾーンが変わります。ストップウォッチ秒針がタイムゾーンを表します。



タイムゾーンを選択することで、電波の受信局を切り替えます。受信可能地域以外では、電波受信の機能ははたらきません。

※サマータイム(DST)の設定をする時は、目的地のタイムゾーンから+1時間のタイムゾーンに設定してください。



タイムゾーン表示と時差一覧 → ⑪

③ 時分針の動きが止まってから、10秒間お待ちください。（タイムゾーン選択モードが終了）

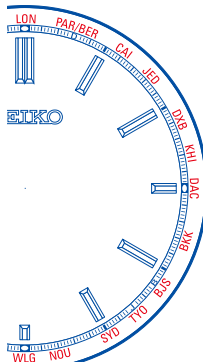
▶ 10秒経過後、ストップウォッチ秒針が0秒位置に戻ります。

※日付が変わる場合は、ストップウォッチ秒針が0秒位置に戻ってから、動きまわります。

11 タイムゾーン表示と時差一覧 取扱説明書 P.38

タイムゾーン変更モードでは、以下をめやすに目的地のタイムゾーン表示に秒針を合わせてください。
サマータイム（DST）の設定をする時は、目的地の時差から+1時間の時差に設定して下さい。

表示	秒針位置	代表都市名	UTCからの時差	受信電波局
LON	0秒	ロンドン	0時間	DCF77
PAR/BER	3秒	パリ/ベルリン	+1時間	DCF77
CAI	6秒	カイロ	+2時間	DCF77 △
JED	8秒	ジッダ	+3時間	-
DXB	11秒	ドバイ	+4時間	-
KHI	13秒	カラチ	+5時間	-
DAC	15秒	ダッカ	+6時間	-
BKK	18秒	バンコク	+7時間	-
BJS/HKG	21秒	北京/香港	+8時間	BPC
TYO	23秒	東京	+9時間	JJY
SYD	25秒	シドニー	+10時間	JJY △
NOU	28秒	ヌーメア	+11時間	-



※「受信電波」に△のついたタイムゾーンは東京、ニューヨーク、またはパリ/ベルリンがサマータイム（DST）のときに選択します。

※各表示はモデル（デザイン）によって異なる場合があります。

（2015年3月現在）

表示	秒針位置	代表都市名	UTCからの時差	受信電波局
WLG	30秒	ウェリントン	+12時間	-
TBU	32秒	ヌクアロファ(トンガ諸島)	+13時間	-
MDY	34秒	ミッドウェー島	-11時間	-
HNL	36秒	ホノルル	-10時間	-
ANC	38秒	アンカレッジ	-9時間	-
LAX	41秒	ロサンゼルス	-8時間	WWVB
DEN	43秒	デンバー	-7時間	WWVB
CHI	45秒	シカゴ	-6時間	WWVB
NYC	48秒	ニューヨーク	-5時間	WWVB
SDQ	50秒	サント・ドミンゴ	-4時間	WWVB △
RIO	53秒	リオデジャネイロ	-3時間	-
FEN	55秒	フェルナンド・デ・ノロニャ諸島	-2時間	-
PDL	57秒	アゾレス諸島	-1時間	-

